

(公印省略)

日 社 福 第 2 9 3 9 号

令 和 元 年 1 0 月 2 4 日

関 係 各 位

日田市農福連携推進協議会事務局

農福連携講演会の開催について（ご案内）

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当市の取り組みにご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市におきまして、農林業を取り巻く環境は、農業生産者の高齢化や担い手の減少が進み、中山間地域を中心に耕作放棄地が増加するなど、集落機能や地域力の低下が懸念されております。また、福祉の現状としましては、働く場の確保と社会参加の促進を行っており、障がいや障がい者への理解促進の必要性があげられております。

そこで、本市では、農林業分野の課題であります「生産者の高齢化と担い手不足」と福祉分野の課題であります「障がい者の働く場の確保と社会参加」の双方の課題解決に向けた取り組みとして、農林業と福祉の連携（農福連携）についての協議を昨年10月より重ねております。

この度、農福連携を取り組み、持続的な農業を目指し、農業経営強化に取り組まれている京丸園株式会社代表取締役 鈴木厚志氏を招き、農福連携講演会を下記のとおり開催いたします。ご多忙中とは存じますが、ご出席いただきますようご案内します。

※なお、出欠の確認をいたしますので、別紙でのご返信または、ご連絡をよろしく願います。

記

日 時：令和元年11月27日（水） 19：00～

場 所：パトリア日田 セセラギホール（小ホール）

講 師：鈴木 厚志氏（京丸園株式会社代表取締役 静岡県浜松市）

（農福連携等推進協議会（内閣府設置）有識者）

内 容：農福連携～障がい者雇用から見えてきた農業活性化のヒント～

対 象：日田市農福連携推進協議会委員、農林業関係者、福祉事業関係者
一般企業経営者

日田市農福連携推進協議会事務局

担当：農業振興課 木村 林業振興課 井上

商工労政課 江田 まちづくり推進課 片桐

社会福祉課 佐藤

TEL : 22-8290（社会福祉課直通）

【講師紹介】

鈴木 厚志 氏 (静岡県浜松市)

- ・京丸園株式会社 代表取締役、農福連携等推進協議会（内閣府）有識者、NPO しずおかユニバーサル園芸ネットワーク事務局長
- ・経営理念「笑顔創造」
- ・芽ねぎ、姫みつば、姫ちんげんさい等のオリジナル商品を JA とびあ浜松、静岡経済連を通して全国 40 市場に周年出荷している。
- ・農家の長男で 13 代目。家族 6 人とパート 4 人での家族経営から始まり、現在は従業員 100 名。年齢や性別、障がいの有無に関係なく雇用（16 歳～83 歳）。
- ・現在、障がい者は 25 名在職。女性や高齢者の雇用も推進している。
- ・経営と福祉を両立し、売上高は約 4 億円の会社へと成長。

【農福連携】

農業や林業分野の課題である「高齢化と担い手不足」と、福祉分野の課題である「障がい者の働く場の確保と社会参加」を、双方で連携して課題解決をしていこうとする取り組み。双方の課題解決と利益がある win-win の取り組みとしている。

政府は平成 28 年に「ニッポン一億総活躍プラン」の中で、農福連携の推進を盛り込んでいる。また、平成 30 年「障害者基本計画」や「経済財政運営と改革の基本方針 2018」でも、農福連携の取り組みが進められている。

【日田市での農福連携の取り組み】

日田市では、平成 30 年 10 月より、日田市農福連携推進協議会を立ち上げ、日田市に適した農福連携の取り組みについて協議を行っている。

協議会委員は農業、林業、就労、福祉分野から選出し、担当課は農業振興課、林業振興課、商工労政課、まちづくり推進課、社会福祉課の 5 課で事務局を運営している。これまでに、日田市における農業、林業、福祉の現状や実際の作業場面の見学、先進地見学等を行い、農福連携の仕組みづくりを検討している。

